

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅲ		
担当者(Instructors)	石川 幸生	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

専門演習Ⅰ・Ⅱに続く演習である。本演習では、今まで進めてきた健康・福祉づくりを背景とした「生涯スポーツとしてのニュースポーツ研究」として関連するテーマのまとめについてプレゼンテーションする具体的な方法を学ばせ研究テーマを決める。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で授業を行う。授業内容、研究テーマに応じてディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、フィールドワークを取り入れる。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	はじめに	シラバスをもとにゼミにおける研究の目的と内容及び進め方を説明する。	<input type="checkbox"/>
第2回	新聞、雑誌などを中心に研究テーマに関する先行研究及び情報収集(1)	新聞、雑誌などを利用し先行研究や情報収集を行う。	<input type="checkbox"/>
第3回	文献を中心とした研究テーマに関する先行研究及び情報収集(2)	文献などを利用し先行研究や情報収集を行う。	<input type="checkbox"/>
第4回	研究テーマに関連する先行研究及び情報検索	情報センターなどを利用し先行研究や情報収集のための検索作業を行う。	<input type="checkbox"/>
第5回	研究テーマに関する文献調査(1)	図書館を利用し文献・資料の情報収集を行う。	<input type="checkbox"/>
第6回	研究テーマに関する文献調査(2)	先行文献や資料の情報収集を図書館を利用して行う。	<input type="checkbox"/>
第7回	研究テーマに関連する文献及び情報検索	コンピュータを利用し最新の情報検索を行う。	<input type="checkbox"/>
第8回	今後の研究テーマについての情報交換と相談(1)	研究室で情報交換と今後の研究に関する相談を行う。	<input type="checkbox"/>
第9回	情報交換と研究テーマに関する相談(2)	研究室で情報交換と研究テーマに関する相談を行う。	<input type="checkbox"/>
第10回	研究に関する研究方法などの検討と相談	研究室などで情報交換と研究方法に関する検討を行う。	<input type="checkbox"/>
第11回	室外におけるスポーツイベントの実践活動研究	室外スポーツイベントを通しての実践活動研究を行う。	<input type="checkbox"/>
第12回	室内スポーツイベントなどの実践研究及び調査	室内スポーツイベントの実践活動研究およびアンケート調査を行う。	<input type="checkbox"/>
第13回	スポーツイベントの実践活動における調査研究の実際	室内外スポーツイベントの実践活動を通して有効な研究方法を検討する。	<input type="checkbox"/>
第14回	研究テーマに関する資料・データ整理など	研究テーマに関する資料・データの整理などを行う。	<input type="checkbox"/>
第15回	研究テーマに関する資料整理とまとめ	資料整理と前期ゼミ活動の総括をする。	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

事前学習として関連資料、新聞、図書などを読んで準備すること(2時間程度)。また、事後の学習は演習で学んだ内容を整理しておくこと(2時間程度)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出された研究課題レポートについてコメントを付け返却する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018人間健康DP2	研究テーマに基づいた研究の方法を身につけ 健康、スポーツ、福祉、心理などの分野における問題意識を持ち解決方法を探求できるか。 研究発表のためのプレゼンテーション能力を身につけることができるか。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし 特に定めないが、必要に応じ資料を配布する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業の中で適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		